

平成29年度 学校経営方針

呉竹総合支援学校 校長

1 教育理念

共生社会とはこれまで十分に社会参加できるような環境になかった人々が、積極的に参加・貢献していくことができる社会であり、地域社会の中で一人の市民として、相互に人格と個性を尊重し支え合い、多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である。

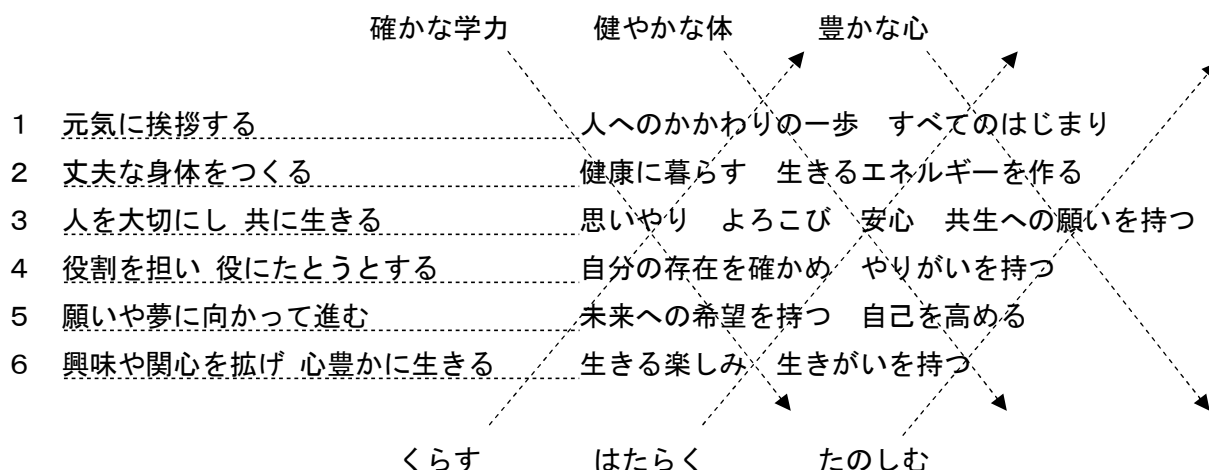
誰もが社会で生きる生活者として、人々とのかかわりの中で暮らしている。その中で児童生徒が心身の健康を保持し、自己有用感を味わいながら願いや夢を築き、実現するために主体性をもって行動し、さらには生きがいといった自己実現のかたちを創造するとともに、道徳性を育み、人権意識や規範意識を高め、人間性豊かな心身を育むために、「くらす」「はたらく」「たのしむ」視点を重視した教育実践を推進する。

めざす児童生徒像は、本校の教育実践の6つの具体的な指標として示したものである。親や家族からの限りない愛情、地域の人々の温かな支えの中で、学校総体として、社会参加し、生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現しながら、共生社会の形成を目指すこととする。

2 学校教育目標

社会参加し、生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために、
個々の可能性を最大限に伸ばす

3 めざす児童生徒像



4 本年度取組の重点

(1) 児童生徒・保護者にも分かりやすい教育課程の再創造

- ① ケース協議を充実させ、評価機能を重視した個別の包括支援プランを展開する
- ② 児童生徒一人一人が力を発揮できる「できる状況づくり」と支援を充実する
- ③ 地域社会とつながる教育活動を推進する
- ④ ユニット授業のデータベース化とシラバス化を進める
- ⑤ すべての教職員の参画による「主体性」をキーワードにした授業研究を行う
- ⑥ キャリア発達の視点をもとに多様な自己実現を創出する教育活動を推進する

(2) 教育活動充実プロジェクトの推進と享有

- ① 平成18年度から継続しているプロジェクトを継続し、OJTを推進する
「芸術系」「環境デザイン・教材教具活用」「AAC ICTの活用」他 教職員の希望によりグループを設定
- ② プロジェクトの成果を公開し享有するとともに、校外へも発信する

(3) 社会に生きる人としての道徳性と規範意識の育成

- ① 個別の包括支援プランに道徳性の育成に関する個別目標を明記する
- ② 挨拶や清掃などの活動を一層進め、人とのつながりを重視した学校生活を形成する
- ③ いじめ防止について組織的、計画的な取組を継続する
- ④ 学校と家庭が一体となって規範意識の向上に向けた取組を推進する

(4) 地域との協働・連携、地域支援の取組の推進

- ① 12年間の流れを意識して地域での学習活動を系統化する
- ② 行政、福祉・労働との密な連携により積極的な進路指導を実現する
- ③ 育支援センターによる多様な障害種に対応する相談・支援業務を推進する
- ④ 学校運営協議会による学校経営への参画をいっそう推進する